

2024（令和6年度）事業報告

特定非営利活動法人 杉並いずみ

第一・第一（堀ノ内）・第二（方南）

特定非営利活動法人杉並いずみ 法人スローガン

1. 自信を持って暮らし、自分自身を価値ある大切な存在だと感じていけるよう、一人ひとりのありのままを大切にします。
2. 毎日の作業の中にあるどんな小さなことも、自分でできることは自分で、を大切にします。
3. やってみたいという気持ち、チャレンジすること、を大切にします。

1. 全体状況

(1) 法人運営

理事会は、臨時も含め年6回開催しました。令和6年度は、方南の移転が議題の中心となり、物件に対する意見や移転の進め方及び東京都への補助金申請についての承認など、年度後半に集中的に進めました。また運営や経営等につきましても、新規事業の実施や運営規程の変更についてご意見交換をしました。

(2) 施設運営

施設状況は、新体制のもと最初の一年となりましたが、第一（堀ノ内含む）、第二とも支援学校新卒者が一名ずつ入所し、特に第二は定員一杯になるなどいずみに対し周囲の関心が高まったことを感じました。

また、前年度一名の就職者がありましたが、令和6年度は3名の方が就職され利用者の希望に添えたと思います。

工賃収入は前年度と比べて増額になり、第二の平均工賃が3万円を超え、事業の成果が反映されています。第一につきましても利用者の増加がありながら、1万5千円超となり、前年度を上回ることができました。

その他、コロナ以降自粛されていた各種イベントも再開されるなど概ね順調に進んだと思いますが、反面障害者権利擁護に対する事案(虐待)が発生し、杉並区より指導を受けたことは重く受け止め、次年度の重点課題として引き継いで参ります。

(3) 三役会（6回開催）

理事長・副理事長・施設長と副施設長での三役会については、法人が令和6年度は移転中心となり、その進捗に合わせて随時開催とし、状況確認と理事会に提出する案件等について事前に話し合いを行いました。

(4) 主任会議

会議は毎週開催し、各所の利用者状況や予定、報告等の情報交換・意見交換・課題、職員会議の議題などの把握をしました。また、移転に向けてのタイムスケジュール確認や堀ノ内からの利用者異動など、主任会議が格好の話し合いの場所となりました。

(5) 職員会議

全職員会議は運営方針の周知と職員相互の連絡・共有を図る機関としての役割と委員会等の報告や虐待防止などの研修、ツールを利用した障害理解及びワークショップを行い、職員間の共通認識と他の事業所との意見交換など意思疎通を図りました。

日々の各所職員ミーティングは夕方15分程度行いました。その日の振り返り・申し送りは情報共有となり、事故や不適切支援への未然の防止となっています。

(6) 利用者支援

① 入退所状況

いずみ第一…新規年間で3名入所 2名就職 1名退所

いずみ第一堀ノ内…新規年間で1名入所 第二より1名異動

すだちの里へ1名異動の他1名退所

いずみ第二方南…新規年間で4名入所

② 高齢化への対応

以前より高齢化については課題とされていましたが、特に具体的な論議はされてきませんでした。令和6年度は課題を実行に移すべく、杉並区と独自に検討を進め、いずみの多機能化を念頭に当初自立訓練事業について話し合いを行ってきたところ、杉並区より知的障害者を対象にした生活介護事業の検討依頼があり、理事会の承認を経て令和7年度後半実施を目標に進めていく事となりました。但し、生活介護事業を実施した場合は、高齢者・障害の重い人など多様な支援が求められるのでプログラムの分割化や高齢者施設との連携など、状況に応じた対応を行い杉並区を中心に関係機関との連携に努めます。

(7) 日中活動

①余暇活動

コロナ感染症第五類移行に伴い、歓迎会、カラオケ大会、スポーツ大会、昼食ツアーなどを行いました。また、一日バスハイクも復活し、利用者を楽しんでもらうことができましたが、ここにも高齢化の影響が見えたので、次回開催より行程の分割など、より安全に楽しんで貰えるよう検討します。

②作業活動

アート活動を積極的に取入れ、作成から製品までの工程を作業活動にしました。施設内や杉並区障害者週間イベントや外部協力機関で展示し、販売にも繋がっています。

③広報活動

日々の施設の様子や月の予定を「いずみ通信」で知らせ、本人・家族・地域に配布し、いずみを知っていただくツールとして今後も発行回数を検討するなど、より効果的に活用して行きます。ホームページについては、施設周知に努め、多くの問い合わせも貰いました。令和7年度は新体制での運営が開始されますので、ホームページもリニューアルします。

(8) 生産活動

①自主製品販売

第二の生産活動については、現場の努力により商品の精度がより向上し、委託販売の催しでも好評をいただき、購入者からの製作依頼に繋がるなど発展した一年だったと思います。半面委託販売先によっては、手数料の高いものもありますので、より利用者還元するため、効率的な販売方法も検討します。

②受注作業

令和6年度は、新規の受注先より多くの利用者が関われる作業を提供され、活気が出たと思います。また、第一については年度後半よりマンション清掃を受注し、職域の広がりや工賃アップに繋がりました。

今後も既存の業者はもとより、仕事ねっとの活用や各職種との連携を模索し職域を広めたいと思います。

③工賃

平均工賃について、いずみ第一は受注量の増加により、前年度の1万2千円から1万5千円となりました。いずみ第二は自主製品が大変好評で、昨年度の目標2万から3万円以上お支払いすることができました。

(9) 第三者委員との連携

第三者委員との連携については、令和6年10月に発生した利用者虐待について、発覚の翌営業日に案件の状況と本人対応、同日に実施した虐待防止委員会の検討内容を報告し、その後に杉並区へ提出した改善計画の作成時に意見を貰い、改善計画に反映しました。その他、方南と堀ノ内の移転について、当事者家族と事業所の立場から進め方について意見を貰い、説明会実施などに際し大変参考になりました。

(10) 感染症対策

新型コロナウイルス感染は前年度に比べ大きく減少しましたが、依然散見されています。インフルエンザも利用者から職員に感染されるなど、手指消毒や洗面所消毒などの防疫を行い、感染状況を鑑みながら防疫体制に努めました。

① 感染状況

新型コロナ 利用者3名、職員2名。

インフルエンザ 利用者2名 職員4名

② 引き続いての感染対策

ア、マスク装着（状況により）、手の消毒の徹底

イ、空気清浄機の設置

ウ、1日2回の検温と通所前の検温のお願い

エ、体温37度以上の人の自宅待機等の対策(職員含む)

(11) 施設内健康チェック

インフルエンザ予防接種は法人が費用を負担し、希望された人に事業所内で実施しました。

2. 本年度の重点目標に対する結果

(1) 利用者支援

利用者が安心して通所できる環境を維持しながら、各利用者の「強味」や「できること」に重点を置き、自己肯定感に繋げるという目標でした。

安心して通所については、利用者間での身体的威圧や職員の権利侵害など利用者全員が安心して通所できる状況とは言えませんでした。その反省をもとに被害者保護はもとより、加害側の利用者への支援として、早期に家族を含め関係機関との協議を進め、気持ちの安定を図ることが必要と再認識しました。

今年度は対応の遅れがあり、反省しております。

利用者の「強味」や「できること」については、利用者の特性を活かした就職先の開拓や施設外就労など、一定の成果はあったと思いますが、本来この目的は重度の方を念頭に置いたもので、対象となる利用者へのアプローチは不完全でした。今後は生活介護だけではなくB型利用者も重度化が進むと言われてますので、職員には更なる意識改革を求めています。

(2) 権利擁護

① 虐待防止

この件は施設を運営する上で最重要課題と捉えていましたが、事案が発生したことに管理者として責任を感じています。またこの案件が発生した際、報告の遅れが認められ、管理者側との意識の隔たりを痛感しました。

再発を防ぐため、全体研修を中心にした意識啓発と、職員個々との面談による意識確認など取り組みます。

② 意思決定支援

利用者の持続可能な限りの生活や社会参加において意思が反映できるよう支援するというものですが、意思決定に繋がらなかったケースも多く見受けられますが、会話による意思疎通の難しい利用者への支援は不十分だったと思います。今後は支援技術の向上と家族連携により、より豊かな生活に繋がるよう努めます。

③ キャリア発達支援

この取り組みについては、理事長提起の「肯定」が基本と考えています。

令和6年度は作業面だけではなく、生活面も含めなどで進捗がみられる利用者は、徐々にですが進んだと思います。

ただ、作業面だけではなく、生活面など含め個別支援計画に変化が見えたことや状況を伝えることができました。

④ 高齢化対策

いずみの現状を見ると、この問題は権利擁護に次ぐ重点課題と捉えています。

令和6年度は高齢者による事故等はありませんでしたが、デイサービスや共生サービスの利用者も増加しています。杉並区と検討はしていますが、いずみとしてのプログラムを立てる必要性を感じています。

(3) 関係機関との連携

すぎなみ仕事ねっとへの参加や、杉並区内の就労移行、A型・B型施設や特別支援学校との研修会を法人内にて開催し、地域や障害福祉サービスに関する情報交換を行いました。

また、利用者支援として、特定相談支援事業所やすまいるとの関係を大切に、法人の会報なども送付し、法人理解が深まるよう取り組みました。

その他福祉系の大学より社会福祉士・ソーシャルワーク実習の受け入れを行い、実習生に学びの機会を提供しながら、法人の周知や外部からの意見も得ることができ、引き続き実施していきます。

(4) 地域連携

令和6年度より、地域イベントもほぼ正常化され、前年に続き杉並区育成会のクリスマス会、コミュニティーふらっと方南、妙法寺門前通り商店街と連携し、イベント販売をさせていただきました。

その他地域の防災研修への参加、杉並区が実施した虐待防止・権利擁護研修や人材育成研修に参加し施設運営に活用しました。

3. 事業概要

(1) 設置の目的

就労継続支援B型事業

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行います。

(2) 名称及び所在地等

①名 称：杉並いずみ第一（和泉）

所在地：東京都杉並区和泉4-4-4

電 話：03-5377-2121

E-mail：suginami-izumil@fuga.ocn.ne.jp

②名 称：杉並いずみ第一（堀ノ内）

所在地：東京都杉並区堀ノ内3-9-11

電 話：03-3317-0831

E-mail：izumi-2@herb.ocn.ne.jp

③名 称：杉並いずみ第二（方南）

所在地：東京都杉並区方南1-52-20

電 話：03-3321-4485

E-mail：tetote@chime.ocn.ne.jp

(3) 設立

① 開 設 昭和52年3月

② 事業種別 障害福祉サービス事業（就労継続支援B型事業）

(4) 施設の規模

①杉並いずみ第一（和泉）

敷地面積 291,61 m² 建物延べ面積 334,75 m²

建築面積 168,75 m² 竣工 昭和63年10月

②杉並いずみ第一（堀ノ内）

面積 162,85, m²

③ 杉並いずみ第二（方南）

面積 245,66 m²

(5) 職員構成

① 職員構成（令和7年3月31日現在）

常勤14名 非常勤14名 計28名

職 種	和泉	堀ノ内	方南
管理者（施設長）	1（兼務）		
サービス管理者	1	1	1
主任支援員			
常勤支援員	4	1	2
目標工賃達成指導員	1	1	1
非常勤支援員	5	3	3
事務局事務員	1（兼務）		

②職員人事

年 月 日	職 種	事由	備 考
R6. 4. 1	第一非常勤事務員	入職	
R6. 5. 15	第二非常勤支援員	入職	
R6. 8. 6	第二非常勤支援員	退職	自己都合
R6. 9. 30	第一非常勤事務員	退職	自己都合
R6. 12. 31	第一常勤支援員	退職	自己都合
R7. 1. 1	第一常勤支援員	入職	
R7. 3. 31	第一常勤支援員	退職	自己都合

(6) 利用者状況 (令和6年3月31日現在)

① 利用対象者

ア. 利用対象者

【就労継続支援B型事業】

区内在住の、主に知的障害者のうち、一般企業等での就労が困難な人に働く場を提供するとともに、就労移行支援事業等を利用したが一般企業等の雇用に結びつかない方や、一定年齢（50歳）に達している人であって就労の機会等を通じ、生産活動にかかる知識・能力の向上や維持が期待される人。

イ. 定員 80名

ウ. 現員 71名

② 性別・年齢別構成

【就労継続支援B型事業】

平均年齢：(男性) 47.7歳 (女性) 40.8歳 (全体) 44.7歳

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
男性	1	7	7	2	10	14	41
女性	1	9	4	6	6	4	30
合計	2	16	11	8	16	18	71

③ 障害程度

身障 愛	なし	1級	2級	3級	4級	5級	合計
2度	12	0	0	0	0	0	12
3度	28	2	0	1	1	1	33
4度	22	0	0	1	0	1	24
合計	62	2	0	2	1	2	69

* 他に精神障害利用者2名(2級・3級各1名)で年度末利用者合計71名

④ 障害支援(程度)区分

区分	6	5	4	3	2	1	非該当	未認定	合計
第一	0	7	12	14	7	0	8	2	50
第二	0	2	1	3	5	0	9	1	21
合計	0	9	13	17	12	0	17	3	71

⑤ 入所前の状況

	特別支援 学校他	通所施設・ 入所施設	普通高校 ・大学	就労	在宅	合計
第一	22	9	0	15	3	49
第二	10	2	1	4	5	22
合計	32	11	1	19	8	71

⑥ 入退所等状況表

【第一】

月	定員数	入所 人数	退所 人数	月末 在籍数	開所日	出席 延人数	欠席 延数	出席 率	利用率
4	60	2	0	52	21	947	145	87%	75%
5	60	1	0	53	21	951	162	85%	75%
6	60	1	0	54	20	913	167	85%	76%
7	60	0	1	53	22	1,005	173	86%	76%
8	60	0	0	53	18	788	166	83%	73%
9	60	1	1	54	19	864	162	84%	76%
10	60	0	1	52	22	1,004	165	88%	76%
11	60	0	0	52	20	898	143	86%	75%
12	60	0	0	52	20	848	192	82%	71%
1	60	0	1	51	19	837	147	86%	73%
2	60	0	1	50	18	783	118	87%	73%
3	60	0	0	50	20	862	138	86%	72%
合計	—	5	5	—	240	10,700	1,878	85%	74%

【第二】

月	定員数	入所 人数	退所 人数	月末 在籍数	開所日	出席 延人数	欠席 延人数	出席率	利用率
4	20	1	1	19	21	357	42	89%	85%
5	20	1	0	19	21	334	48	84%	80%
6	20	0	0	19	20	330	50	87%	83%
7	20	0	0	19	22	374	44	89%	85%
8	20	0	0	19	18	285	57	83%	79%
9	20	0	0	19	19	321	40	89%	84%
10	20	1	0	20	22	394	46	90%	90%
11	20	1	0	21	20	364	56	87%	91%
12	20	0	0	21	20	361	59	86%	90%
1	20	0	0	21	19	320	79	80%	84%
2	20	0	0	21	18	318	60	84%	88%
3	20	0	0	21	20	352	68	84%	88%
合計	—	4	1	—	240	4,110	649	86%	86%

⑦ 通所手段

方法	徒歩	路線バス	電車	バス 電車	送迎車	送迎車 路線バス	送迎車 徒歩	マイカ ー	合計
第一第二	25	14	7	10	13	1	0	1	71

⑧ 退所理由

	一般 就労	保護的 就労	区外 転居	結婚	入院	通所施設 移動	入所施設 移動	在宅	死亡	合計
第一第二	2	0	0	0	0	1	1	2	0	6

⑨ 生活の場

	家庭	GH	単身	合計
第一第二	43	27	1	71

⑩ ぜんち共済加入状況（令和6年3月31日現在）

加入者 93名（@18,500円 75歳以上は@21,000円全額施設負担）

事業実績名

（1）活動プログラム

公園清掃は年間のスケジュール通り行いました。

ウォーキングについては、作業の進捗状況を見ながら行いました。

項目	施設名	実施月・場所	回数・参加人数
公園清掃	第一和泉	べんてんばし・和泉二丁目公園	104回
	第一堀ノ内	堀ノ内東公園	104回
	第二方南	上水橋・方南緑地	104回
		泉南・弁天橋東	78回

週間プログラム（10:30～と14:30～それぞれ10分間の休憩）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:50	体操 朝礼 (ウォーキング) 公園清掃 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 公園清掃 作業
12:00～ 13:00	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩

13:00～	作業	作業	作業 浴風会	作業	作業
15:50～	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼
16:00	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅

(1) 行事

令和5年度の5月より新型コロナウイルスの感染分類が変更されましたので、全体で集合する行事も開催しました。

項目	施設名	実施月・場所	利用者参加人数
歓迎会（入所式）	第一・第二	4月 オンライン	57名
日帰りバスツアー	第一・第二	1/17・1/24	利用者59名 職員24名
いずみふれあい祭	第一・第二	10/1	55名
スポーツの集い	第一・第二	10月 オンライン	53名
スポーツイベント （全体）	第一・第二	10月 方南会館	55名
新年を祝う会	第一・第二	1月・各自施設	55名

(2) 就労支援の取り組み

職場体験実習（清掃業務）に1名参加しました。

(3) 工賃アップの取り組み

新型コロナウイルスの影響の中、委託販売に出品し売り上げ増になりました。ネットショップはまだ知名度は低いですが、少しずつ売り上げが増えてきました。
（以下に販売、工賃を記載）

①各所の作業

ア、第一和泉

自主生産作業：せんべい

受託作業：児童向け雑誌の付録袋入れ、タオル折りと袋入れ、各種DM封入等

清掃作業：べんてんばし公園、和泉二丁目公園清掃（杉並区より受託）

イ、第一堀ノ内

自主生産作業：ビーズアクセサリー 猫の爪とぎ

受託作業：児童向け雑誌の付録袋入れ、タオル折りと袋入れ、各種DM封入等
DMポスティング作業

清掃作業：堀ノ内東公園（杉並区より受託）

ウ、第二方南

自主生産作業：手織り、手染め、フェルト商品製作等

清掃作業：上水橋緑地、弁天橋東緑地、泉南緑地、方南緑地（杉並区より受託）

②生産・販売全体状況

ア、施設外販売

施設名	参加機関	内容
第二	スリーパンズ	参加回数5回 販売日数59日
第二	ハッピースマイル フェスタ	4回20日間
第一・第二	ふらっと方南	ふらっと方南祭り
第一・第二	杉並区育成会	総会、クリスマス会
第一・第二	妙法寺	夏のふれあい千日紅花祭り

③工賃

ア、第一(利用実績がない方がいる場合0)

月	定員	月末 現員	給与 払数	工賃			
				総額	平均額	最高額	最低額
4	60	52	49	345,760	7,667	15,450	20
5	60	53	50	497,920	10,995	21,540	400
6	60	54	51	479,510	10,504	19,680	590
7	60	53	51	464,100	10,159	20,030	980
8	60	53	51	845,120	19,305	36,250	320
9	60	54	51	861,970	18,955	38,870	20
10	60	52	52	593,690	13,009	25,320	30
11	60	52	51	366,450	8,161	16,000	70
12	60	52	48	509,220	12,010	21,720	1,480
1	60	51	48	583,170	13,238	33,930	120
2	60	50	49	626,190	14,395	28,870	130
3	60	50	47	1,943,520	45,093	80,320	9,200
合計			598	8,116,620	15,171		

イ、第二(利用実績がない方がいる場合0)

月	定員	月末 現員	給与 払数	工 賃			
				総額	平均額	最高額	最低額
4	20	19	18	645,380	37,964	81,790	7,860
5	20	19	19	300,860	18,916	34,240	3,720
6	20	19	18	320,250	19,409	38,400	40
7	20	19	18	296,050	17,415	35,440	1,140
8	20	19	18	262,040	16,550	30,960	1,020
9	20	19	19	720,110	42,623	89,820	4,070
10	20	20	20	375,180	20,949	42,420	50
11	20	21	21	414,250	22,761	46,440	20
12	20	21	20	458,300	25,391	50,400	120
1	20	21	19	459,670	27,293	54,160	1,990
2	20	21	20	427,670	24,208	47,780	1,000
3	20	21	20	1,497,320	85,075	183,570	930
合計		239	230	6,177,080	30,059		

5. 権利擁護

(1) 事業所としての取り組み

年に2回職員会議で、全職員の無記名での「虐待防止セルフチェック」を行いました。全体的には前向きに支援を行っているとの集計結果が得られました。
(別紙参照)

令和6年度は利用者への虐待行為が1件、職員間の権利侵害が1件発生しました。このことは重大に受け止め、杉並区へ改善計画の提出し、職員研修も今までの年4回を年6回とし、再発防止に努めます。

(2) 虐待防止委員会

- ① 今年度は12回実施しました。法人が定めた「虐待防止要綱」の内容を委員で確認し、以下の内容を実施しました。

ア、職員チェックリストの実施(年2回)

イ、研修実施

ウ、事例検討(質の良い支援や合理的配慮支援など)

(虐待防止責任者)

氏 名	職 種
茂木 幹雄	施設長

(虐待防止委員会)

役割	氏名	職種
委員長	茂木 幹雄	施設長
委員	大内 留美子	主任支援員
委員	大久保 江理子	副施設長
委員	伊藤 貴司	支援員
委員	梅田 良子	支援員
委員	久保木 真奈美	支援員

(3) 苦情解決

苦情解決委員会に諮るまでもない事案はありませんでした。しかし、連絡帳の字が読みにくいなど、職員の配慮が必要な事案がありました。

① 苦情解決体制

ア

役割	氏名	職種
苦情解決責任者	大久保 江理子	副施設長
苦情受付担当者	辻村 佳子	主任事務員
苦情受付担当者	大内 留美子	主任支援員

イ. 杉並区関係相談・苦情窓口

杉並区保健福祉サービス苦情調整委員（連絡先）03-3312-2111(代表)

ウ. その他

東京都知的障害者育成会苦情受付窓口（連絡先）03-5389-2600

東京都社会福祉協議会 福祉サービス運営適正化委員会事務局

（連絡先）03-5238-7020

② 令和6年度苦情受付状況

特にありませんでした。

(4) 第三者委員との連携・活動(相談)

① 移転に伴う保護者会の意見把握

② 事業拡充や統合に伴う職員の意見把握

特に虐待案件は第三者委員の意見が必要となります。

6. 医務

(1) 健康管理

例年通り若年層（30歳未満）を対象に施設検診を実施し、事業所負担でインフルエンザ予防接種を行いました。また、毎月月初めに体重測定を行いました。

科目	実施月	実施機関
施設健診	1月7日	保健所（若年対象者のみ）
予防接種 （職員含む）	10月31日	いらたに内科クリニック（インフルエンザ）

(2) 感染予防・対応

今年度については、施設内のノロウイルス感染は発生しませんでした。

7. 危機管理

(1) 事故防止・ヒヤリハット

毎日職員終礼時にヒヤリハット・事故報告をし、その日のうちに状況と対応策を確認し合いました。

毎月の職員会議では3所の事故・ヒヤリハット報告を行いました。今年度も施設において各種保険（施設賠償保険、傷害保険）に加入して万が一に備えました。

	事故							ヒヤリハット
	自傷	他害	転倒	行方不明	誤薬	その他	合計	
第一	0	0	0	1	1	0	2	8
第二	0	0	0	0	0	1	1	0
合計	0	0	0	1	1	1	3	8

(2) 緊急時対応等

今年度は緊急な対応を行うことはありませんでしたが、緊急時の対応や連絡等について、主任会議内で確認しました。

(3) 情報漏えい対策

利用者、家族、職員の個人情報は施設内で一括管理しました。また広報誌用写真、ビデオ撮影などは、あらかじめ書面で利用者・保護者から承諾を得た人のみ掲載・撮影しました。

(4) 特定個人情報管理

個人情報（マイナンバー）利用開始に伴い、事業所における取扱者を選任し、安全管理の再点検、個人番号運用方法を確認の上、提出を求めました。

職 名	氏 名
取扱管理責任者	施設長 茂木 幹雄
取扱責任者	主任事務員 辻村 佳子

8. 防災

(1) 自衛消防体制

消防計画の自衛消防体制組織を確認し、職員に役割を掲示し周知しました。消防用設備点検は外部のメンテナンス・サービスに依頼し、特に問題はありませんでした。BCP計画も策定し、実施しています。

(2) 避難訓練

①第一和泉

指導者	訓練名および実施日
防火管理者	地震 6月21日、火災 10月29日、水害 11月22日

②第一堀ノ内

指導者	訓練名および実施日
防火管理者	地震 6月11日 4月25日 火災 2月13日 11月7日
	水害 11月20日 12月6日

③第二方南

指導者	訓練名および実施日
防火管理者	地震 12月3日、火災 3月25日、水害 6月6日

(3) 大規模地震・災害対策

- ① 防災備蓄用品の食料品の賞味期限を確認し、備品の点検、整理をしました。各所にてコーディネーターによる防災診断を行い、対策指導を受けました。

9. 家族（保護者）との連携

(1) 保護者連絡会

- ① 6月・10月・2月にいずみ連絡会を開催し、保護者の方との親睦を深める機会を持ちました。個別にご相談を頂いた方には、直接面談またはお電話でご意見を傾聴させていただき、課題解決に努めました。
- ③ 3月に「利用調査(施設満足度アンケート)」を実施しました。集計結果は利用者様・保護者様・職員には書面で配布しました。

(2) 三者面談

年2回の三者面談を行い、ご家庭・GHでの様子を伺いました。面談時には本人や家族の了解のもと相談支援専門員・GH支援員・後見人等、関係者の方々にできる限り参加をお願いし、チーム支援が行えるように努めました。

10. 地域との連携

(1) 地域交流

11月より、いずみ主催の地域事業との研修会を隔月に開催し交流を深めました。その他にも共同受注などにより、今まで関係のなかった事業所とも連携し相互関係の構築に努めました。

(2) 地域関係団体・事業所との連携

① 地域事業者との連携

ア. 杉並区「すぎなみ仕事ねっと」や「杉並区障害者雇用支援ネットワーク会議」、「地域法人連絡会」等には定期的に参加し情報共有を行いました。また、区内の就労移行施設からの利用者紹介などもあり、積極的に情報交換を行いました。

イ. 相談支援事業者との連携は、定期的な電話連絡の他、ケース会議や個別面談等に参加し関わりを多く持ちました。

② グループホームとの連携

利用者29名がグループホームを利用中で、50歳以上の高齢利用者も増えているため、日々の情報交換はより注意して行いました。東京都手をつなぐ育成会城北地域生活支援センター支援ワーカーともケース会議を行い、情報

交換を行いました。三者面談時には、グループホームの世話人も可能な限り参加していただきました。

③東京都手をつなぐ育成会との連携

グループホーム支援ワーカーとの連携、都育成会地域法人連絡会主催のオンライン研修会に参加、地域法人連絡会所属施設長とのオンライン幹事会、新型コロナウイルス感染対策が緩和され、対面での実践発表会参加など数多くの連携を行いました。

④その他

「東京ビジョンアイクリニック阿佐ヶ谷」、代々木上原の「みさき眼科クリニック」の待合室壁面に作品を展示させていただきました。

第一堀ノ内は町会に加入しています。

(3) 実習等受け入れ状況

① ボランティア受け入れ状況

新型コロナウイルスの感染対策も緩和され、ボランティアの受け入れは可能な状況ではありましたが、受け入れに至りませんでした。

② 見学者受け入れ状況

第一	第二	合計
41名	17名	58名

③研修・実習受け入れ状況

特別支援学校及び中学生の実習希望者を積極的に受け入れ、年間 14 名の実習生を受け入れました。地元中学校からは7名の実習生を受け入れました。

	第一	第二	合計
特別支援学校実習生	5名	2名	7名
特別支援学校ミニ実習	4名	0名	3名
中学生実習	4名	0名	4名
在宅者他	3名	2名	5名
ソーシャルワーク	2名		2名
合計	17名	4名	21名

1 1. 会議・委員会

(1) 会議

会議名	回数	会議名	回数
三役会議	8回	主任会議（臨時含む）	50回
職員会議	12回	第一和泉支援員会議	12回
第一堀ノ内支援員会議	12回	第二方南支援員会議	12回
いずみ連絡会	2回	工賃評定会議	2回
研修報告（職員会議内）	12回	事故報告（職員会議内）	12回

(2) 委員会

会議名	回数	会議名	回数
虐待防止委員会	11回	自主芸術広報委員会	7回
健康推進委員会	1回	送迎サービス委員会	4回

(3) 地域との連携

会議名	回数	会議名	回数
すぎなみ仕事ねっと定例会・役員会（杉並区主催）	12回	杉並区障害者雇用支援ネットワーク会議（杉並区主催）	12回
東京都手をつなぐ育成会 地域法人協議会研修委員会	8回		

1 2. 研修計画

(1) 研修実績（オンライン研修含む）

4月1日	新職員対象虐待防止研修（サポーターズカレッジ動画視聴）	1名
4月1日	管理者になるための基礎知識（サポーターズカレッジ動画視聴）	1名
4月5日	管理者になるための基礎知識（サポーターズカレッジ動画視聴）	1名
4月22日	管理者になるための基礎知識（サポーターズカレッジ動画視聴）	1名
5月10日	福祉施設で使える chatGPT はじめの一步	1名
5月27日	障害者現場職員初任者向け講習会	1名
5月27日	職員研修 ケース検討「O.Yさんの支援について」	職員研修参加者
7月16日	杉並区高齢者等虐待対応従事者研修	1名
7月17日	令和6年度第1回虐待防止全体研修	全職員
7月24日	「てんかんとは」	1名
9月27日	ステップアップ研修（話し合いの場作りのカンドコロ）	1名

10月3日	杉並区食品衛生責任者研修 1名
10月10日	感染症の基礎知識 1名
10月23日	令和6年度第2回虐待防止全体研修 全職員
11月20日	令和6年度東京都強度行動障害者支援者養成研修（実践研修2期）1名
12月5日	令和6年度東京都強度行動障害者支援者養成研修（実践研修2期）1名
12月16日	ケーススタディ研修「拘束のいらぬ生活の実現に向けて」 1名
12月20日	令和6年度東京都強度行動障害者支援者養成研修（実践研修2期）1名
12月25日	感染症対策について 2名
1月22日	令和6年度第3回虐待防止全体研修 全職員
1月28日	強度行動障害に関しての学び~仕組みから支援に行かせる考え方 1名
2月25日	令和6年度東京都手をつなぐ育成会地域法人協議会実践発表会 1名

（2）職員育成

毎月の職員会議で研修報告をし、研修を日常支援にフィードバックするようにしました。

全職員が虐待防止研修をはじめ研修に参加し、新人研修はオンライン講義を活用し実施しました。

1 3. 労務管理

（1）職員健康管理

①職員に生活習慣病予防健診、若年層健診を実施。

②職員にインフルエンザ予防接種を実施。

（2）セクシャルハラスメント・パワーハラスメント等の防止

職員相談担当理事を配置 相談実績は1件。

（3）メンタルヘルス

メンタルヘルス、ストレスチェックを1回実施しました。

（4）次世代育成支援

いずみ通信を地域に配布し、啓発活動を行いました。

（5）職員の休憩時間の確立を行いました。各所で工夫をしながら法定休憩時間の取得をしています。

1 4. 指導・監査・調査等

（1）利用調査（施設満足度アンケート）を令和6年3月に実施しました。

「作業内容・作業支援」「建物の設備」「職員の態度」について回答を頂きました。

(2) 第三者評価の受審

令和5年度に第三者評価を受け、令和6年度はご意見としていただいた各種マニュアルの整備と活用に取り組みました。

15. その他

(1) 広報活動

季刊誌「いずみ通信」を年4回発行しました。

(2) 資金計画

①職員給与には処遇改善助成金を支給しました。

② 社会福祉法人東京都共同募金会より、第一に作業用椅子10脚と第二に除湿器1台を頂きました。

③ 公益社団法人昭和池田記念財団よりノートパソコン1台を第一に頂きました。

④ 一般社団法人昭和会館より6人用ロッカー3台を第一に頂きました。

⑤ 東京善意銀行より額19個を第二に頂きました。

16. 決算

別紙参照